大山　弘先生略歴

- 1953年　　徳島県に生まれる。
- 1977年 3 月　　同志社大学法学部法律学科卒業
- 1984年 3 月　　関西大学大学院法学研究科博士課程後期課程単位取得満期退学
- 1984年 4 月　　関西大学法学部非常勤講師（～1989年 3 月）
- 1989年 4 月　　福島大学行政社会学部助手
- 1990年 6 月　　福島大学行政社会学部助教授
- 1993年 4 月　　福島大学大学院地域政策科学研究科助教授
- 1998年 4 月　　福島大学行政社会学部教授，同大学院地域政策科学研究科教授
- 2001年 4 月　　神戸学院大学法学部教授（～2004年 3 月）
- 2004年 4 月　　神戸学院大学大学院実務法学研究科教授（～2015年 3 月）
- 2015年 4 月　　神戸学院大学法学部教授（～2024年 3 月）
- 2024年 3 月　　神戸学院大学退職
- 2024年 4 月　　神戸学院大学名誉教授　学校法人神戸学院 法務アドバイザー

＜大学役職＞

- 2004年 4 月　　神戸学院大学評議員（～2005年 3 月）
- 2013年10月　　学長補佐（危機管理担当）（～2024年 3 月）

＜学会・社会活動＞

- 日本刑法学会（1979年～2025年）
- 日本法社会学会（2000年～2025年）
- 福島県弁護士会綱紀委員会委員（1992年～2001年）
- 教員資質向上福島県連絡協議会委員（1995年～1996年）

・法務省矯正研修所刑務官初等科・法務教官基礎科講師（2000年）
・兵庫県弁護士会綱紀委員会委員（2005年～2014年）
・NPO 法人日本 BBS 連盟兵庫県西地区 BBS 会顧問（2018年～2024年）

大山　弘先生業績一覧

（著書）

・（共著）『コンピュータ犯罪等に関する刑法の一部改正（注釈）』（中山研一他編著）「電子計算機使用詐欺罪」を執筆。
成文堂　1987年

・同上書　改定増補版
「電子計算機使用詐欺罪」の罪数関係を加筆。　成文堂　1989年

・（共著）『刑法理論の探求　～中刑法理論の検討～　中義勝先生古希祝賀』（中山研一・森井暲・山中敬一編著）
「責任の本質と機能」を執筆。　成文堂　1992年

・（共著）『経済刑法入門』（中山研一・神山敏雄・斎藤豊治編著）
「カード犯罪」を執筆。　成文堂　1992年

・同上書　第２版
「カード犯罪」の新判例・新文献を加筆。　成文堂　1994年

・同上書　第３版
「カード犯罪」の新判例・新文献を加筆。　成文堂　1999年

・（共著）『現代法学双書13・刑法各論』（川端博編著）
「財産犯罪（恐喝，横領，背任，贓物，毀棄隠匿）」を執筆。
八千代出版　1993年

・（共著）『刑法マテリアルズ』（西原春夫・新倉修・山口厚・井田良・松宮孝明編著）「期待可能性」を執筆。　柏書房　1995年

・（共著）『現代刑法学原論（総論第３版）』（刑法理論研究会編）
「犯罪の主観的要素（責任主義，責任の本質論，責任能力）」を執筆。　三省堂　1996年

・（共著）『中山研一先生古希祝賀論文集　第２巻（経済と刑法）』（古希祝賀論文集編集委員会編）「政治家の斡旋利得行為の刑事規制

について」を執筆。　成文堂　1997年

・（共著）『判例経済刑法大系（第１巻）商法罰則・証券取引法』（佐々木史朗編）「預合の罪」を執筆。　日本評論社　2000年

・（共著）『刑事法を考える』（石塚伸一・渡辺修共著）
「第２部　犯罪の世界へ　刑法の考え方」を執筆。
法律文化社　2002年

・（共著）『環境刑法概説』（中山研一・神山敏雄・斎藤豊治・浅田和茂編著）「騒音・振動に関する犯罪」を執筆。　成文堂　2003年

・（共著）『新・レッスン法学』（目崎哲久・國友順市編著）
「第８章　罪と罰」を執筆。　嵯峨野書院　2008年

・同上書　改訂版
「第８章　罪と罰」に「脳死・臓器移植と犯罪」等を加筆。
嵯峨野書院　2011年

・（共著）『ワンステップ法学』（國友順市・畑雅弘編著）
「第８章　罪と罰」を執筆。　嵯峨野書院　2015年

・同上書　第２版
「第８章　罪と罰」に最新資料を加筆。　嵯峨野書院　2016年

（論文）

・（単著）「責任と予防に関する一考察　～可罰的責任評価をめぐって～」
関西大学　法学論集31巻５号　1982年

・（単著）「期待可能性の構造について　～「可罰的責任」の観点からの考察」
『犯罪と刑罰』第２号　成文堂　1986年

・（単著）「コンピュータ不正利用と財産罪」
『犯罪と刑罰』第３号　成文堂　1987年

・（単著）コンピュータシステムへの加害行為と業務妨害罪　～刑法

新規定234条ノ２の検討」

福島大学　『行政社会論集』１巻３・４号　1989年

・（単著）「クレジットカードの濫用と刑事罰　～有効な自己名義クレジットカードの濫用行為の当罰性をめぐって～」

『犯罪と刑罰』第８号　成文堂　1991年

・（単著）「福島県拡声機暴騒音規制条例について　～刑事法の観点からの一考察～」

福島大学地域研究センター　『地域研究』３巻３号　1992年

・（単著）「電子計算機使用詐欺罪の検討　～２つの判例を契機として～」

福島大学　『行政社会論集』６巻１号　1993年

・（単著）「政治腐敗防止と刑事規制　～我国における資金規制法制度を中心に～」

『犯罪と刑罰』第11号　成文堂　1995年

・（単著）「汚職の摘発と刑事責任」

『法学セミナー』第508号　日本評論社　1997年

・（単著）「組織犯罪対策立法と犯人蔵匿罪」

『犯罪と刑罰』第13号　成文堂　1998年

・（単著）「政治腐敗防止のシステムを」

『法学セミナー』第524号　日本評論社　1998年

・（単著）「精神障害者と犯罪」

『別冊法学セミナー・法学入門1999』　日本評論社　1999年

・（単著）「産業廃棄物の不法投棄に対する刑事規制について　～福島県の取り組みと廃棄物処理法による刑事規制の問題点～」

福島大学地域研究センター　『地域研究』11巻４号　2000年

・（単著）「不正アクセス禁止法について」
『福島大学情報処理センター広報』第11号　2002年
・（単著）「ファーストキット刑法総論・未遂」
『法学セミナー』第571号　日本評論社　2002年
・（単著）「可罰的責任論の構造」
『神戸学院法学』34巻３号（石原明教授退職記念）
2005年
・（単著）「企業の使途秘匿金に対する刑事規制について」
『神戸学院法学』39巻３・４号（村田宗樹教授追悼）
2010年

（翻訳・紹介）
・（単著）「G. シュトラーデンヴェト著『刑法の責任主義の将来』」
関西大学大学院『法学ジャーナル』第23号　1978年
・（単著）「F.M. コンデ著『実質的責任概念について』」
関西大学大学院『法学ジャーナル』第27号　1980年
・（単著）「K. レプマン著『刑法129条 a における＜テロリスト団体のために宣伝する＞という構成要件の内容と限界』」
『警察研究』54巻７号　良書普及会　1983年
・（単著）「P. クレーマー著『刑留保付き警告制度（西独刑法59条以下）は，ルネサンスを体験するか？』」
『警察研究』55巻６号　良書普及会　1984年
・（単著）「K. リューダーセン著『精神分析学の自由概念と現代刑法のためのその帰結』」
立命館大学『立命館法学』第175号　1985年
・（単著）「W. ハセマー著『犯罪被害者への顧慮』」
龍谷大学『龍谷法学』19巻１号　1986年
・（単著）「E. シュミットホイザー著『刑法の価値論的責任概念～不

法な行為心情について～』」

立命館大学『立命館法学』第194号　1987年

・（単著）「H. グロス著『帰責可能性と相応の罰』」

『警察研究』59巻 4 号　良書普及会　1988年

・（単著）「E.F. ゲレロ著『（公務員の）腐敗と汚職～経済犯罪の巧妙な一形態～』

岡山大学『法学会雑誌』40巻 2 号　1990年

・（共訳）「アメリカ合衆国のコンピュータ犯罪規定（上）（下）」（共訳者：荒川雅行・加藤敏幸・新保佳宏）

関西学院大学『法と政治』41巻 1 号，42巻 1 号

1990年，1991年

・（共訳）『ギュンター・ケラー編著　生殖医学と人間遺伝学～刑法によって制限すべきか？～』（中義勝・山中敬一監訳）

成文堂　1991年

・（共訳）「イギリス・コンピュータ犯罪立法の新動向～Law Commission Report No. 186 の紹介」（共訳者：荒川雅行・佐藤雅美）

福島大学『行政社会論集』第 3 巻 3 号　1991年

・（単著）「J. コータン著『銀行詐欺』」

『警察研究』63巻 5 号　良書普及会　1992年

・（単著）「イギリス行刑白書『収容，ケアおよび公正』第 2 章」

『警察研究』63巻12号　良書普及会　1992年

・（共訳）「デブリン卿レポート試訳」（共訳者：菅原郁夫，岡田悦典，佐藤達哉）

福島大学『行政社会論集』11巻 2 号～同13巻 2 号

1998年～2000年

・（共訳）『同一性識別の法と科学』（庭山英雄監訳）

信山社　2000年

（判例評釈）

- （単著）「保護観察のための刑の執行延期と責任刑（BGHSt29. 319）」
  関西大学大学院『法学ジャーナル』第35号　1983年
- （単著）「路上に置かれた自転車について被害者の占有を認めた事例（福岡高判昭58・2・26）」
  甲南大学『甲南法学』24巻３・４号　1984年
- （単著）「銀行の女子行員がオンラインシステムの預金端末機を不正に操作して預金の振替入金を行った行為につき電子計算機使用詐欺罪（刑法246条ノ２）の成立を認めた事例（大阪地判昭63・10・7）」
  福島大学『行政社会論集』２巻３号　1990年
- （共著）「ロッキード事件丸紅ルート」（共著者：松宮孝明）
  『法学セミナー』485号　日本評論社　1995年
- （共著）「東海大学付属病院『安楽死』事件」（共著者：松宮孝明）
  『法学セミナー』487号　日本評論社　1995年
- （共著）「参考人供述調書偽造事件」（共著者：松宮孝明）
  『法学セミナー』490号　日本評論社　1995年
- （単著）「供述・自白の信用性に疑いがあるとして無罪とされた事例」
  『季刊　刑事弁護』第４号　現代人文社　1995年
- （共著）「生駒トンネル火災事件」（共著者：松宮孝明）
  『法学セミナー』495号　日本評論社　1996年
- （共著）「オウム信者地下駐車場侵入事件」（共著者：松宮孝明）
  『法学セミナー』496号　日本評論社　1996年
- （共著）「改ざん公文書ファクシミリ送信事件」（共著者：松宮孝明）
  『法学セミナー』499号　日本評論社　1996年
- （共著）「ダートトライアル同乗者死亡事件」（共著者：松宮孝明）
  『法学セミナー』503号　日本評論社　1996年

・（共著）「オウム真理教元薬剤師殺害事件」（共著者：松宮孝明）
『法学セミナー』504号　日本評論社　1996年
・（共著）「岩手県教組同盟罷業事件」（共著者：松宮孝明）
『法学セミナー』510号　日本評論社　1997年
・（共著）「児童福祉法違反事件」（共著者：松宮孝明）
『法学セミナー』515号　日本評論社　1997年
・（共著）「公職選挙法違反事件」（共著者：松宮孝明）
『法学セミナー』518号　日本評論社　1998年
・（共著）「生駒トンネル火災事件控訴審判決」（共著者：松宮孝明）
『法学セミナー』525号　日本評論社　1998年
・（共著）「オウム真理教元薬剤師殺害事件（教組の妻に関して）」（共著者：松宮孝明）
『法学セミナー』529号　日本評論社　1998年
・（単著）「（共謀）共同幇助の成否と刑法60条の適用」
『法学セミナー』533号　日本評論社　1999年
・（単著）「傷害罪の承継的共同正犯と同時傷害の特例」
『法学セミナー』536号　日本評論社　1999年
・（単著）「不作為による幇助犯の成否」
『法学セミナー』539号　日本評論社　1999年
・（単著）「死者の占有と窃盗罪の成否」
『法学セミナー』542号　日本評論社　2000年
・（単著）「着手中止と実行中止の区別」
『法学セミナー』545号　日本評論社　2000年
・（単著）「積極的加害意思と急迫性」
『法学セミナー』549号　日本評論社　2000年
・（単著）「簡易生命保険証書の不正取得と詐欺罪の成否」
『法学セミナー』553号　日本評論社　2000年
・（単著）「心理的なストレス状態と『傷害』概念」

『法学セミナー』557号　日本評論社　2001年

- （単著）「虚偽を含んだ申告と自首の成否」

『法学セミナー』561号　日本評論社　2001年

- （単著）「行為者の第２行為の介在」

『法学セミナー』565号　日本評論社　2001年

- （単著）「業務上横領罪における不法領得の意思」

『法学セミナー』569号　日本評論社　2002年

- （単著）「職務密接関連行為」

『法学セミナー』573号　日本評論社　2002年

- （単著）「放火罪における複数建物の一体性」

『法学セミナー』577号　日本評論社　2002年

- （単著）「危険運転致死罪における故意」

『法学セミナー』581号　日本評論社　2003年

- （単著）「強盗罪の要件としての暴行脅迫」

『刑法判例百選Ⅱ各論第５版』（別冊ジュリスト167号）
有斐閣　2003年

- （単著）「廃掃法16条にいう『みだりに廃棄物を捨て』の意義」

『神戸学院法学』36巻１号　2006年

- （単著）「電子マネー利用権の不正取得と電子計算機使用詐欺罪の成否」

『神戸学院法学』36巻２号　2006年

- （単著）「盗品の同一性」

『刑法判例百選Ⅱ各論第６版』（別冊ジュリスト190号）
有斐閣　2008年

- （単著）「港湾工事につき業者談合に関与していた北海道開発局港湾部長に対して北海道開発庁長官が特定業者の便宜を図るよう働き掛ける行為の職務密接関連性」

『神戸学院法学』40巻３・４号　2011年

・（単著）「法人税ほ脱幇助犯の懲役刑に併科される罰金刑の量定」
『神戸学院法学』41巻３・４号　2012年
・（単著）「盗品保管罪における知情の時期」
『刑法判例百選Ⅱ各論第７版』（別冊ジュリスト220号）
有斐閣　2014年
・（単著）「盗品保管罪における知情の時期」
『刑法判例百選Ⅱ各論第８版』（別冊ジュリスト251号）
有斐閣　2020年

（学会報告）
・「責任判断の構造～可罰的責任評価をめぐって～」　1981年１月15日
日本刑法学会関西部会　京都大学
・「電子計算機濫用による業務妨害罪と財産利得罪」　1984年７月12日
日本刑法学会関西部会　龍谷大学
・「電子計算機使用詐欺罪の検討」1993年11月６日
東北法学会第10回大会　福島大学
・「政治腐敗と刑事法」1995年６月４日
日本刑法学会第73回大会　関西大学
・「予防的責任論の近時の展開と問題点」1998年１月25日
日本刑法学会関西部会　京都大学

（その他）
＜書評＞
・（共著）「ロクシン著（宮沢監訳）『刑法における責任と予防』成文堂　1984年」（共著者：佐藤雅美）
『犯罪と刑罰』第１号　成文堂　1985年
・（単著）「前田雅英・藤森研著『刑法から日本をみる』　東京大学出版会　1997年」

『法学セミナー』520号　　日本評論社　　1998年

・（単著）「西岡正樹著　実質的責任論に関する一考察　法学71巻4・5号」

『神戸学院法学』39巻1号　　2009年

＜研究ノート＞

・（単著）「当番弁護士制度の実態と課題」福島大学地域研究センター『地域研究』6巻3号　　1995年

＜辞典＞

・（共著）『コンサイス　法律学用語辞典』（編集代表：佐藤幸治ほか）刑事法分野23項目の解説　　三省堂　　2003年

＜調査研究報告＞

・（単著）「薬物と非行〜法規制の変遷と処遇・治療のあり方」大阪少年補導協会主催　第3回非行問題セミナー　基調報告

『関西非行問題研究』第8号　　1983年

・（単著）「脳死・臓器移植についての医療職員の意識」ふくしま自治研修センター

『ふくしまトライアングル』4号　　1995年

・（単著）「法廷内への遺影持ち込みによる心理的影響に関するアンケート調査とその結果分析」2002年度共同研究助成金（B）研究成果報告書

神戸学院大学研究支援センター　　2005年

＜講演＞

・「少年法の理念と基本構造」　　福島県二本松市少年センター主催　平成6年度補導員研修会　基調講演　1994年12月6日

＜教育活動＞

・公開模擬裁判の指導

福島大学「法廷教室」設置と学生模擬裁判実行委員会の立ち上げ，模擬裁判（刑事）の企画，演出，実施，マスコミ向け法律解説を担

当。　1998年～1999年

・公開模擬授業の実施

「大学フェア2001」（関西テレビ主催・大阪城ホール）において，大学法学部の授業モデルを考えるための公開模擬授業（テーマ：死刑制度）を担当。　2001年

・法科大学院での実務現場訪問　2006年～2013年

裁判所，検察庁，県弁護士会，刑事施設，保護観察所へ院生を引率して見学・指導。

＜弁護士会関係＞

・全国当番弁護士実態調査に参加。　1993年～1994年

・県弁護士会綱紀委員会委員として，懲戒申立て案件の調査・審議に参与。　1992年～2014年